

令和 5 年度 政務活動費支出内訳簿

別紙 様式5

科目:研修研究費

	年 月 日	支 出 金 額 (円)	備 考 (内 容)
①	1月22日	2,000	寒川町議会議員研修会講師謝礼として
②	2月9日	30,000	地方議員研究会主催 地域福祉政策の立案に向けて 地域福祉政策の実践に向 けて 資料・動画データ代として
③	3月27日	60,000	地方議員研究会主催 福祉政策特別研修 資料・動画データ代として
	合 計	92,000	

政 務 活 動 記 録 簿

会派(議員) 橋本修一

経理責任者 橋本修一

支 出 科 目	研究研修費
年 月 日	令和6年1月22日
視察先・内容	政策提言を行う議会になるために ―「チーム議会」で基本条例づくり―
参 加 者	橋本修一
政 務 活 動 の 結 果	政策提言、基本条例づくりについて学んだ。

上記活動に要した経費

	領 収 証 の 有 無		金 額	備 考
資 料 購 入 費	有	無	0 円	
出席者負担金・会費	有	無	2,000 円	
そ の 他 (入 館 料 な ど)	有	無	0 円	
相 手 先 手 土 産 代	有	無	0 円	
旅 費 ・ 交 通 費	有	無	0 円	※内訳(経路と運賃) は別紙行程表のとおり
自動車借上料(タクシー代)	有	無	0 円	
宿 泊 費	有	無	0 円	
総 合 計	2,000			円

領 収 書

橋本 修一 様

一金 2, 000円也

(2, 000円×1人)

ただし、寒川町議会議員研修会（1月22日開催分）講師謝礼として、
上記のとおり領収いたしました。

令和6年1月22日

寒川町議会 議会改革推進委員会

委員長 吉田 悟朗



寒川町議会 研修会次第

日 時 令和 6 年 1 月 22 日 (月)

午後 2 時～

場 所 議会第 1・2 会議室

(案 件)

1. 研修会

政策提言を行う議会になるために

―「チーム議会」で基本条例づくり―

講師：株式会社自治日報社編集部 高橋一之氏

2. その他

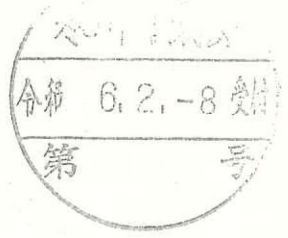
寒川町議会 研修会

**政策提言を行う
議会になるために**
—「チーム議会」で基本条例づくり—

株式会社自治日報社編集部

高橋 一之

2024年1月22日（月）



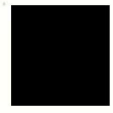
視察・研修届出書

令和6年2月8日

寒川町議会議長 天利 薫 様

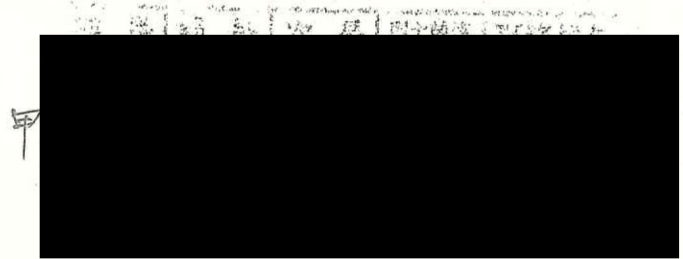
会派名又は議員名

橋本 修一



次のとおり、会派(議員)視察・研修を計画しましたので届け出ます。

年 月 日	令和6年2月9日
視察先・内容	地域福祉政策の立案に向けて 地方議員が今取り組むべき課題 基礎編
行 程	USB対応。
参 加 者	本人のみ。
視察・研修の目的	地域福祉政策の基礎となる知識を理解し、計画の立案、実行、評価 プロセスを学び生かしていくため。



政 務 活 動 記 録 簿

会派(議員) 橋本修一

経理責任者 橋本修一

支 出 科 目	研究研修費
年 月 日	令和6年2月9日
視察先・内容	地域福祉政策の立案に向けて 地方議員が今取り組むべき課題 基礎編
参 加 者	本人のみ。
政 務 活 動 の 結 果	※別紙 報告書のとおり

上記活動に要した経費

	領 収 証 の 有 無		金 額	備 考
資 料 購 入 費	☒ 有	☐ 無	15,000 円	
出席者負担金・会費	☐ 有	☐ 無	0 円	
そ の 他 (入 館 料 な ど)	☐ 有	☐ 無	0 円	
相 手 先 手 土 産 代	☐ 有	☐ 無	0 円	
旅 費 ・ 交 通 費	☐ 有	☐ 無	0 円	※内訳(経路と運賃) は別紙行程表のとおり
自動車借上料(タクシー代)	☐ 有	☐ 無	0 円	
宿 泊 費	☐ 有	☐ 無	0 円	
総 合 計	15,000			円

視察・研修報告書

令和6年2月23日

寒川町議会議員 天利 薫 様

会派名又は議員名
橋本 修一



次のとおり、会派(議員)視察・研修に参加したので報告します。

年 月 日	令和6年2月9日
視察先・内容	地域福祉政策の立案に向けて 地方議員が今取り組むべき課題 基礎編
行 程	USB対応
参 加 者	本人のみ。
視察・研修の目的	地域福祉政策の基礎となる知識を理解し、計画の立案、実行、評価 プロセスを学び生かしていくため。
視察・研修事項の 概要及び所感	(概要) 1 これからの福祉政策を考える視点 2 2040年を展望した 社会保障改革の概要 3 地域共生社会の実現 4 令和5年度介護 保健制度改正の概要 5 我が事・丸ごとの地域づくりについて 6 健康寿命の延伸 (所感) 今後の介護保健をとりまく状況、2040年頃を展望した社会保 障改革の新たな局面と課題、主な取り組みとして①多様な就労・社会 参加②健康寿命の延伸③医療・福祉サービス改革があげられ、それ ぞれのテーマごとに政策が掲げられているのが理解出来た。3の 地域共生社会の実現では、地域共生タスクフォースの検討の方向性 が示され、他市町村の先進事例が紹介されている。最後に健康寿命 の延伸では、人生100歳時代の到来で人口は100年間で2倍、人口は 50年で百寿者は300倍以上に推移してきていることが統計で示され、 健康増進・虚弱予防の研究と推進がされていること。健康長寿のた めの3つの柱、「栄養」「身体活動」「社会参加」があり、実例が取り 上げられていた。国の施策を踏まえ、町の課題や状況に照らして、政 策提案や提言に繋げていきたい。

地方議員が今取り組むべき課題-基礎編-

地域福祉政策の立案に向けて

公益社団法人かながわ福祉サービス振興会
理事長 瀬戸恒彦

地方議員が今取り組むべき課題 -基礎編-

政策の基本は課題の把握から
-政策立案の考え方とその手法-

公益社団法人かながわ福祉サービス振興会
理事長 瀬戸恒彦